

奈良県の財務諸表【概要版】

平成23年10月

奈良県

平成22年度 奈良県財務諸表の作成

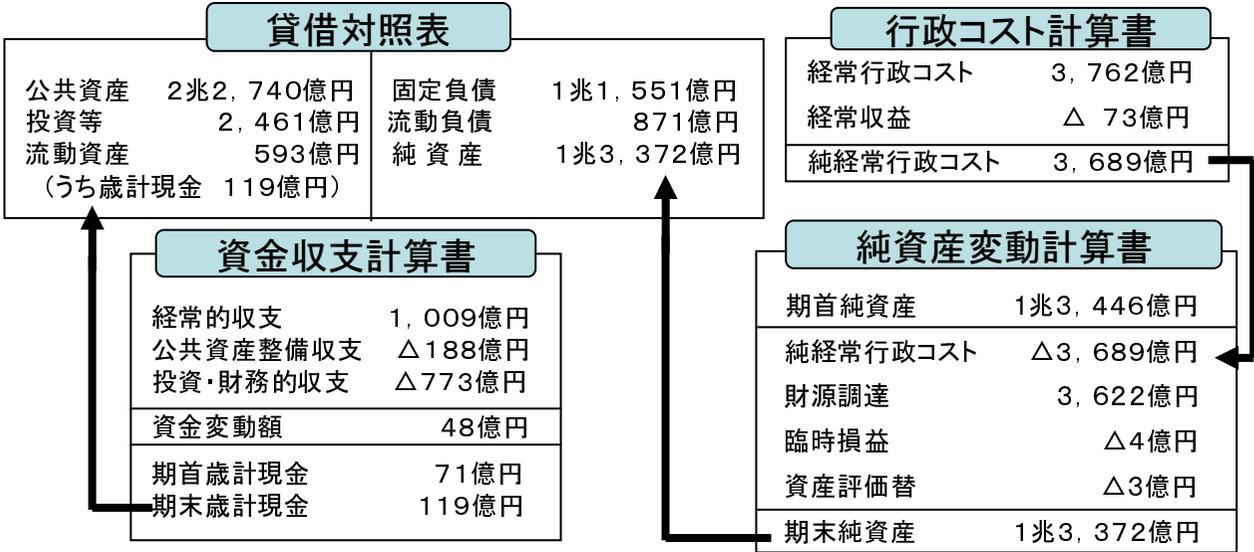
更に詳しく、正確な財務状況の提供を目指し、「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」(総務省)による財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)の整備要請を踏まえ、普通会計、県全体及び連結について、それぞれ、平成20年度決算から、財務書類4表を「総務省方式改訂モデル」により作成

作成諸表

| | | 19年度 (旧総務省方式) | 20年度～ (総務省改訂モデル) |
|----------|------|------------------|---------------------|
| 貸借対照表 | 普通会計 | ○ | ○ |
| | 県全体 | ○ | ○ |
| | 連結 | ○ | ○ |
| 行政コスト計算書 | 普通会計 | ○ | ○ |
| | 県全体 | ○ | ○ |
| | 連結 | — | ○ |
| 純資産変動計算書 | 普通会計 | — | ○ |
| | 県全体 | — | ○ |
| | 連結 | — | ○ |
| 資金収支計算書 | 普通会計 | — | ○ |
| | 県全体 | — | ○ |
| | 連結 | — | ○ |

県全体⇒普通会計+6公営事業会計
 連結 ⇒県全体+公立大学法人奈良県立医科大学
 +地方三公社+第3セクター等12団体

財務諸表4表の相関関係(普通会計ベース)

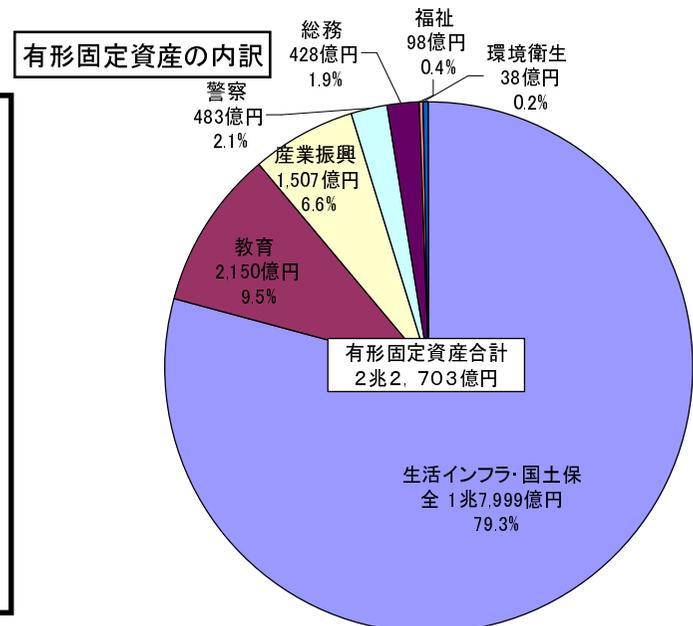
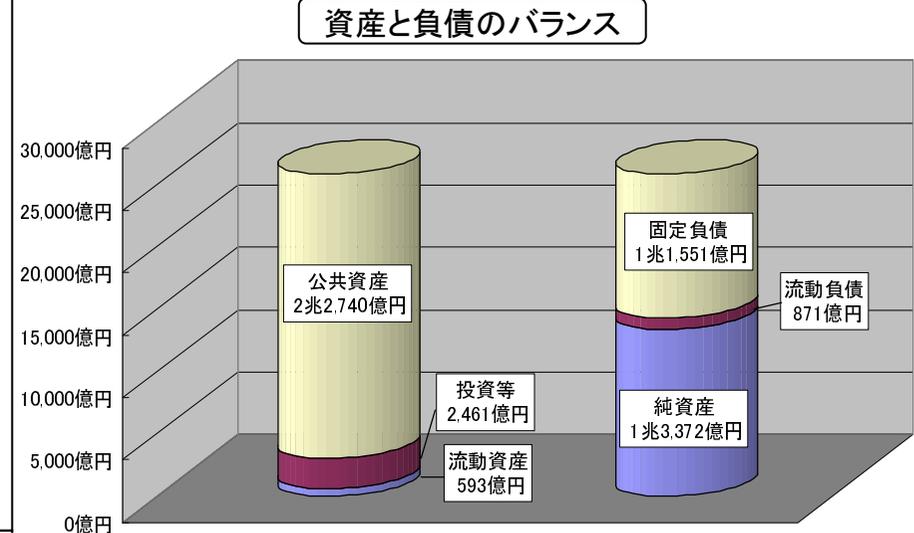


貸借対照表(普通会計)

どれほどの資産や債務を有するかについての情報を表示

| | |
|--|--|
| 公共資産 2兆2,740億円 【△ 51億円】 有形固定資産 2兆2,703億円 売却可能資産 37億円 | 固定負債 1兆1,551億円 地方債 1兆 156億円 長期未払金 29億円 退職手当引当金 1,366億円 |
| 投資等 2,461億円 投資・出資金 1,232億円 貸付金 297億円 基金等 885億円 長期延滞債権 80億円 回収不能見込額 △33億円 | 流動負債 871億円 翌年度償還地方債 565億円 未払金 15億円 翌年度支払退職手当 212億円 賞与引当金 79億円 |
| 流動資産 593億円 【+ 93億円】 現金預金 566億円 未収金 27億円 | 負債合計 1兆2,422億円 (県民1人あたり88万円の負債) |
| 資産合計 2兆5,794億円 (県民1人あたり 183万円の資産) 【+ 56億円】 | 純資産 1兆3,372億円 (県民1人あたり95万円の純資産) |
| | 負債・純資産合計 2兆5,794億円 |

【 】の数値は、前年度の貸借対照表との増減



【ポイント】

○県民1人当たりの資産:183万円(H21 182万円)

21年度は、27位〔全国平均 223万円〕

○県民1人当たりの負債:88万円(H21 87万円)

21年度は、(少ない方から)17位〔全国平均 96万円〕

○社会資本形成の過去・現世代負担比率:58.8%(H21 59.0%)

純資産(1兆3,372億円)／公共資産(2兆2,740億円)

21年度は27位〔全国平均 59.0%〕

○21年度との比較

資産合計 56億円増加

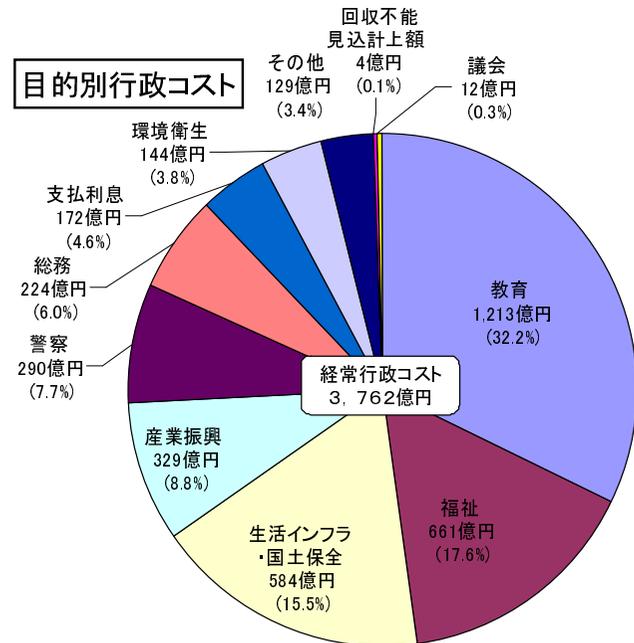
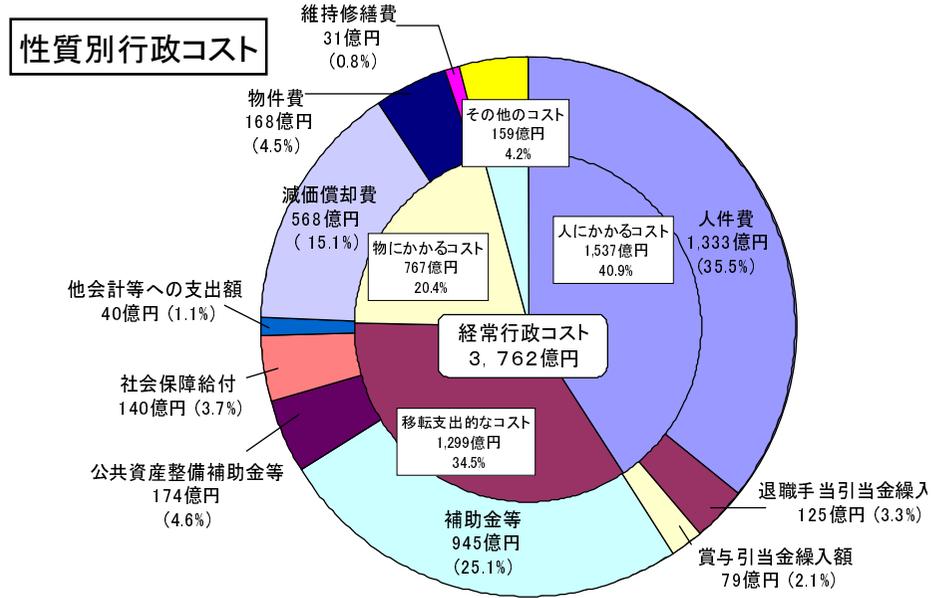
(全国順位は、総務省方式改訂モデルで作成した41道府県中のもの)

行政コスト計算書(普通会計)

経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を表示

| | |
|------------------|-------------------------|
| 経常行政コスト | 3,762億円 【△ 11億円】 |
| (県民1人あたり27万円) | |
| 人にかかるコスト | 1,537億円 【△ 52億円】 |
| 人件費 | 1,333億円 |
| 退職手当引当金繰入等 | 125億円 |
| 賞与引当金繰入額 | 79億円 |
| 物にかかるコスト | 767億円 【+ 25億円】 |
| 物件費 | 168億円 |
| 維持補修費 | 31億円 |
| 減価償却費 | 568億円 |
| 移転支出的なコスト | 1,299億円 【+ 24億円】 |
| 社会保障給付 | 140億円 |
| 補助金等 | 945億円 |
| 他会計等への支出額 | 40億円 |
| 公共資産整備補助金等 | 174億円 |
| その他のコスト | 159億円 【△ 8億円】 |
| 支払利息 | 172億円 |
| 回収不能見込計上額等 | △13億円 |
| 経常収益 | 73億円 |
| 使用料・手数料等 | 57億円 |
| 分担金・負担金・寄附金 | 16億円 |
| 純経常行政コスト | 3,689億円 |
| (県民1人あたり26万円) | |

【 】の数値は、前年度の行政コスト計算書との増減



【ポイント】

- 人件費などの人にかかるコストが最も多く、経常行政コストの41%
- 県民1人当たり経常行政コスト:27万円(H21 27万円)
21年度は、(少ない方から)全国8位〔全国平均 33万円〕
- 受益者負担比率:1.9%(H21 2.6%)
経常収益(73億円)÷経常行政コスト(3,762億円)
21年度は35位〔全国平均 3.1%〕

(全国順位は、総務省方式改訂モデルで作成した41道府県中のもの)

純資産変動計算書(普通会計)

純資産が1年間にどのように増減したかを表示

| | | |
|----------|-----------|-------------------------------|
| 期首純資産残高 | 1兆3,446億円 | |
| 純経常行政コスト | △3,689億円 | 74億円 の減少 【138億円 の増加】 |
| 財源調達 | 3,622億円 | |
| 地方税 | 1,191億円 | |
| 地方交付税 | 1,438億円 | |
| 建設補助金 | 728億円 | |
| 市町村負担金 | 11億円 | |
| その他 | 254億円 | |
| 臨時損益 | △4億円 | |
| 資産評価替 | △3億円 | |
| 期末純資産 | 1兆3,372億円 | |

【 】は、前年度の数値

資金収支計算書(普通会計)

経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支に区分して現金の流れを表示

| | |
|----------|------------------|
| 経常的収支 | +1,009億円【+915億円】 |
| 経常的支出 | 3,081億円 |
| 経常的収入 | 4,090億円 |
| 公共資産整備収支 | △188億円【△267億円】 |
| 公共資産整備支出 | 724億円 |
| 公共資産整備収入 | 536億円 |
| 投資・財務的収支 | △773億円【△666億円】 |
| 投資・財務的支出 | 886億円 |
| 投資・財務的収入 | 113億円 |
| 資金変動額 | 48億円【△18億円】 |
| 期首歳計現金 | 71億円 |
| 期末歳計現金 | 119億円 |

【 】は、前年度の数値

奈良県連結財務諸表

連結対象範囲

普通会計

公営事業会計(6会計)

- 奈良県水道用水供給事業費特別会計
- 奈良県病院事業費特別会計
- 奈良県営競輪事業費特別会計
- 奈良県観光自動車駐車場費特別会計
- 奈良県流域下水道事業費特別会計
- 奈良県中央卸売市場事業費特別会計

地方独立行政法人(1団体)

- 公立大学法人奈良県立医科大学

地方三公社(3団体)

- 奈良県土地開発公社
- 奈良県道路公社
- 奈良県住宅供給公社

第三セクター等(12団体)

- 財団法人奈良県万葉文化振興財団
- 一般財団法人奈良県ビクターズビューロー
- 財団法人なら・シルクロード博記念国際交流財団
- 社会福祉法人奈良県社会福祉事業団
- 財団法人健やか奈良支援財団
- 財団法人奈良県交通遺児等援護会
- 財団法人奈良県解放センター
- 財団法人奈良県中小企業支援センター
- 財団法人奈良県農業振興公社
- 財団法人奈良県食肉公社
- 財団法人奈良県林業基金
- 公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター

県全体
対象範囲

貸借対照表

| | | |
|---------------------|-----------|-------------------------|
| 普通会計 | 2兆5,794億円 | (負債 1兆4,201億円) |
| 公営事業会計 | 4,409億円 | 普通会計 1兆2,422億円 |
| 連結対象団体 | 1,740億円 | 公営事業会計 1,205億円 |
| | | 連結対象団体 1,069億円 |
| | | (純資産 1兆6,228億円) |
| | | 普通会計 1兆3,372億円 |
| | | 公営事業会計 3,203億円 |
| | | 連結対象団体 671億円 |
| 資産合計 3兆429億円 | | 負債・純資産合計 3兆429億円 |

※ 各会計の金額は、相殺消去前の金額

行政コスト計算書

| |
|------------------|
| (純行政コスト 3,730億円) |
| 普通会計 3,689億円 |
| 公営事業会計 35億円 |
| 連結対象団体 1億円 |

※ 各会計の金額は、相殺消去前の金額

純資産変動計算書

| |
|---------------------|
| (期首純資産残高 1兆6,324億円) |
| 普通会計 △74億円 |
| 公営事業会計 △6億円 |
| 連結対象団体 △18億円 |
| (期末純資産残高 1兆6,228億円) |

※ 各会計の金額は、相殺消去前の金額

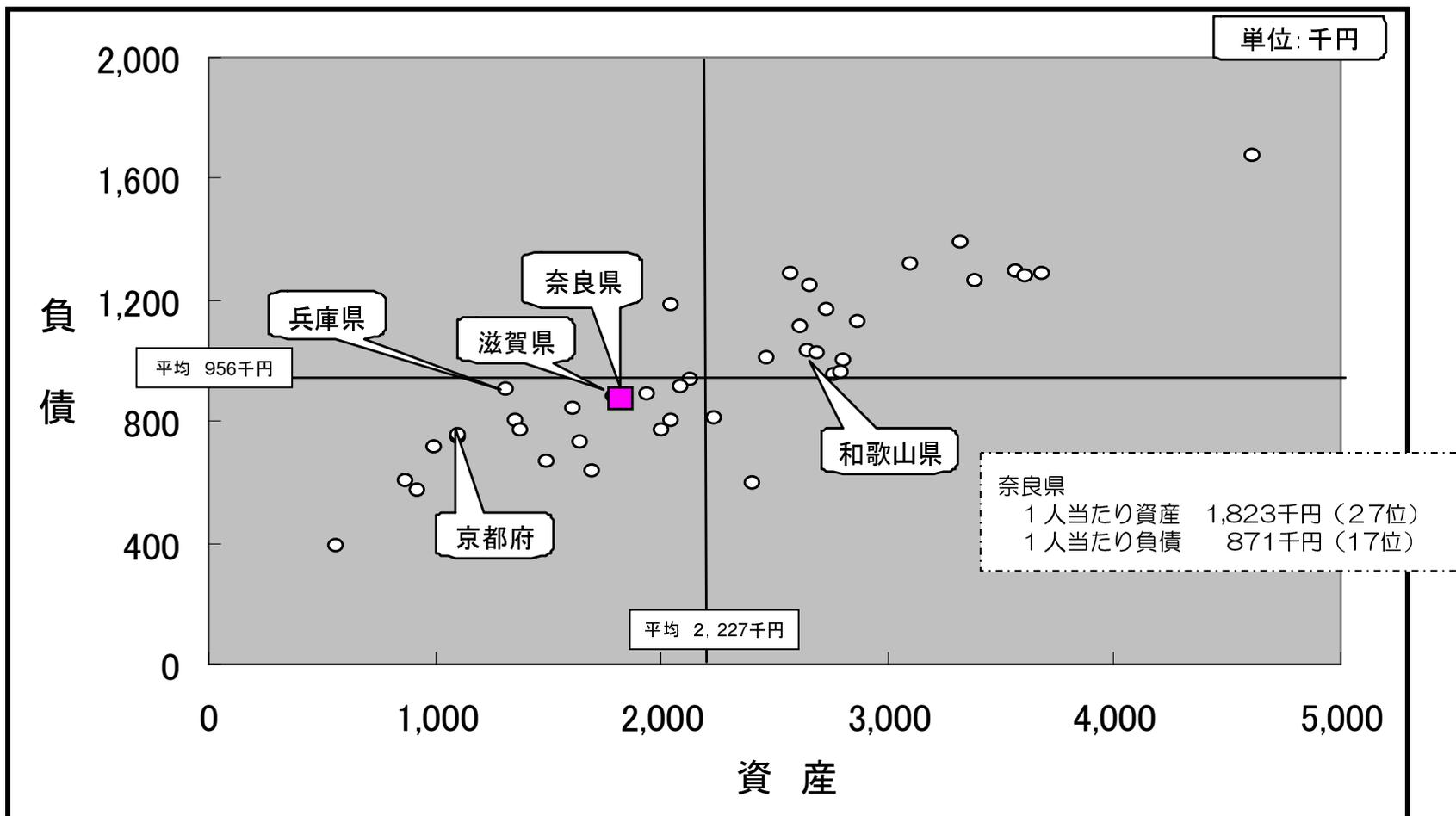
資金収支計算書

| |
|----------------|
| (期首資金残高 691億円) |
| 普通会計 +96億円 |
| 公営事業会計 △17億円 |
| 連結対象団体 2億円 |
| (期末資金残高 774億円) |

※ 各会計の金額は、相殺消去前の金額
普通会計の資金には、歳計現金のほか
財政調整基金及び減債基金を含む。

【参考】

県民1人当たりの資産と負債の関係
(H21 普通会計)



総務省方式改訂モデルで作成した41道府県を対象として作成